

取扱説明書 120型系 完成品

[1] 仕様

- 1 アナログ＋デジタル表示のリユーズレス(電子針合わせ)
アナログ＝時・分表示(1分運針)
デジタル＝時・分(24時間表示)、秒、曜・日の3モード表示
- 2 ストップウォッチ機能
分・秒表示の60分計
- 3 30秒振り分けリセット機能
±30秒以内の進み、遅れをワンタッチで「秒」修正ができます
※アナログ、デジタルは連動でしていますので同時に作動します
「進み」の場合は待機して、「遅れ」は早送りして「0」秒スタート
- 4 オートカレンダー(自動カレンダー)
2月が28日制ですので うるう年の2月だけ修正してください
- 5 電池寿命切れ予告装置
デジタル表示全体が点滅して「電池寿命切れ」を予告します
- 6 デュアルタイム(別時計)機能
アナログ表示とデジタル表示をそれぞれ別の時刻セットし 別時計として使用できます

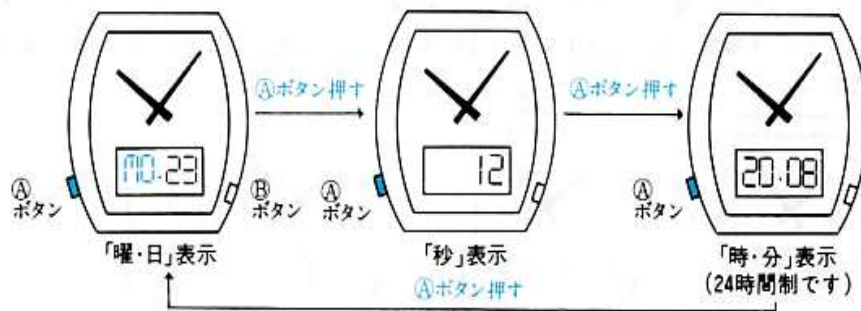
[2] 外観と機能概略案内

「時刻」「カレンダー」の見方

「時刻」「カレンダー」の見方

アナログにより時刻を表示し、デジタルにより「曜・日」「秒」「時・分」を表示します。

④ボタンを押すごとに次の順でデジタルの表示内容が切り替わります。



「曜・日」表示のとき曜日は英文字で表示します。

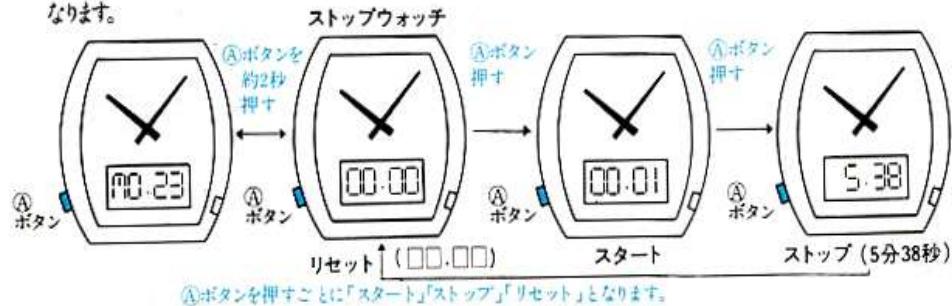
SU(日曜日)、MO(月曜日)、TU(火曜日)、WE(水曜日)、TH(木曜日)、FR(金曜日)、SA(土曜日)

「ストップウォッチ」としての使い方

(ストップウォッチ……分・秒表示の60分計)

時刻・カレンダー表示

- 時刻・カレンダー表示において(A)ボタンを約2秒押すとデジタル表示部がストップウォッチ表示となり、ストップウォッチとして使用できます。[ストップウォッチになった時□□.□□(リセット)を表示します。]
- ストップウォッチ機能において(A)ボタンを約2秒押すとデジタル表示部はカレンダー表示(曜・日)になります。



- アナログ(指針)はストップウォッチに関係なく正しい時刻を表示します。

「時刻」「カレンダー」の合わせ方

1. デジタル表示の場合



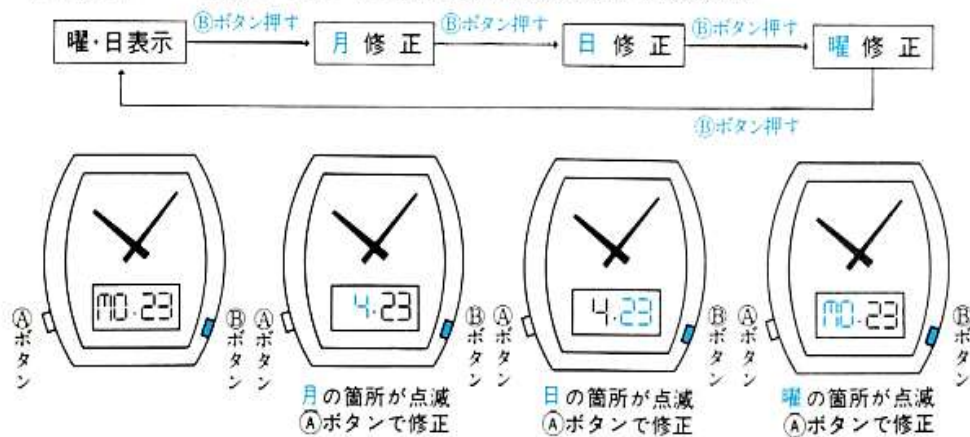
- ①修正したい箇所を(A)ボタンで表示します。
- ②(B)ボタンを押すと修正箇所が点滅します。
(B)ボタンはボールペン等先の細いもので押してください。
- ③(A)ボタンを押すことにより、押した回数だけ修正数が送られ、修正できます。

デジタル表示のコロン点滅について

		表 示
コ ロ ン	点 滅	○通常表示(時・分、曜・日)
	停 止	○デジタル修正(時、分、月、日、曜)
		○アナログ修正
		○ストップウォッチ表示(リセット スタート、ストップ)
コロンなし		○秒表示

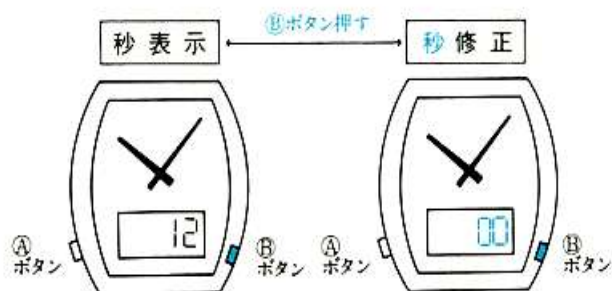
カレンダーの修正

「曜・日」表示において⑧ボタンを押すごとに修正箇所は次の順で切り替わります。



秒の修正

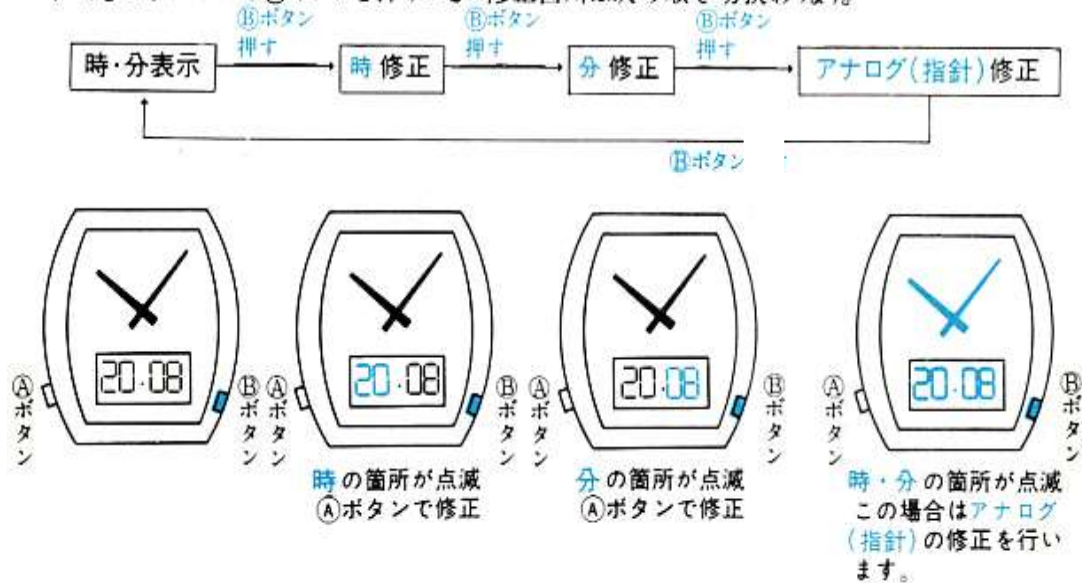
「秒」表示において⑧ボタンを押すと秒修正され「秒」表示に戻ります。



この場合、秒が0～29秒のときは0秒に、30～59秒のときは分が1分進んで0秒からスタートします。秒はデジタル、アナログ(指針)が連動していますので、指針(分針)は同じ動きをします。(30秒振り分けリセット)

時分の修正

「時・分」表示において⑧ボタンを押すごとに修正箇所は次の順で切替わります。



アナログ表示の修正

デジタルの「時・分」表示において③ボタンを3回押すと「時・分」が点滅します。この時、アナログ(指針)の修正ができます。



針合わせ……④ボタンを約2秒押し続けると分針は連続して進みます。
まず合わせようとする時刻の2〜3分ほど前まで連続送り
してください。④ボタンを1回押すごとに分針が10秒ず
つ送られます。正しい時刻に合わせてください。

スタート……③ボタンを押せば時計はスタートし、正しい時刻を刻みます。(この時デジタルの「時・分」は点滅が消え元の状態に戻ります。)※③ボタンを押さないと、時分針はストップのままなので、忘れずに押して下さい。

この時、デジタルの時刻と同じ時刻に合わせれば、デジタルの時、分、秒と運動して時刻を刻みます。

デジタルの時刻と異なる時刻をセットして、デュアルタイム(別時計)としても使用できます。

注:デュアルタイム(別時計)として使用する場合、アナログ表示と曜・日表示(デジタル)は連動にはなりませんので注意してください。